## ■ アンケート調査より

### ●学区設定について

- 安全な通学路、適正な距離・時間については各属性 で9割以上が重視している。
- ・「地域の学区が分かれないようにする」は、各属性 とも半数以上が重視している。
- ・一方「1つの小学校区からは1つの中学校」は、半 数以上がやや不要・不要と回答されている。

### ●これからの学校施設で重要な機能

- 「児童生徒が快適に学習できる環境」と「防災・ 防犯機能の強化」は各属性で高い割合を占める。
- ・教職員からは、「教職員が快適に働ける環境」が、 未就学児保護者からは「子育て支援機能との複合 (児童ホーム等)の要望が目立った。
- また、自由回答ではトイレへの要望が多かった。

## ●プール施設について重要なこと

- 保護者からの回答では、「天候等に左右されな い」「プールまでの移動距離」「年間を通して実 施できる」順での要望が大きい。
- 教職員からは、プール管理の負担が少ないことも 重要という意見が最も多かった。
- 自由回答では、実施回数についての意見が多い。

### ●学校給食のあり方

- 小学校給食では、「温かい給食」「食育」が重視 されている。また、教職員の目からは、「運搬や 配膳のしやすさ」を重視する意見も多かった。
- 中学校給食では、保護者・未就学児保護者のおよ そ3分の2が全員喫食を希望しているのに対し、 教職員は6割が現在の選択方式を最適としている。

### 多面的な実態把握

長寿命化計画の

現状の整備いい

・現状の整備レバル

● 追加調査の

工事履歴

劣化状況

・工事履歴

● 今後の維持

更新コスト

・直近20年で

必要な費用

な費用

・今後40年で必要

最低限の機能向

上型/建替えと

長寿命化の併用

型のコスト

● 詳細実態把握

把握

実施

バックデータ 1 バックデータ 2

#### ソフト面

児童生徒数・

· 市全体/中学校

区別/学校別

・ピークから現在

・現在から10年後

・現在から20年後

中学校区の関係

・過去10・20年

学級数

● 通学区域、

学校配置

・小学校区と

・学校間距離

通学エリア・

の多い地区

● 地域状況

・地域人口

・土地利用

開発動向

・地形的制約

・他の公共施設

通学路の課題

・通学児童・生徒

アンケート調査

• 小中学校全保護者

• 学校運営委員会委員

市内保育園・幼稚園

• 市立学校教職員

在園児保護者

• オンライン調査

(LINE配信・QRコード)

配布・回収状況

• 4属性計13,167人中、

2.478回答(18.8%)

・属性(居住地・子ど

望ましい通学時間

1学校あたりの望ま

・1学級当たりの望ま

● 主な調査項目

もの通学校等)

しい学級数

学区のあり方

・プール・給食

・学校施設・整備

しい人数

● 調査方法

対象

# ハード面

## 対応策の検討

## (プール・給食・新しい教育)

バックデータ 3

- プール ● コスト状況 施設状況 横断的なコスト
- (ハード・維持 管理コスト) 一般利用・学校
- 授業利用
- 運営状況
- ・民間委託(栗原 小)の状況

# ● 給食

- ・施設の状況
- 整備レベル
- ・民間委託(中学 校)の状況
- ・今後の維持・更 新費用

### ● 新しい教育ニー ズへの対応

- ・少人数教育 ・特別支援教育
- ・国際教室
- 教育支援教室
- ⇒諸室整備・利 用状況・人員

バックデータ 4

学校を取り巻く

現状と課題

(人件費・運営

(施設関連経費)

● 上位・関連計画

・小中学校施設

長寿命化計画

公共施設再整備

地域別・年齢別

・歳入・歳出状況

・今後の見通し

の人口動態

・ひまわりプラン

・教育大綱

計画等

● 人口状況

● 財政状況

学級規模別 等

費)

・市全体/

# ●プール 築40年以上 民間プール **\** \*

■ 対応策の検討

市立プールは全施設 老朽化、屋外のため 利用期間も限定的 同程度のコストで民 間委託が可能

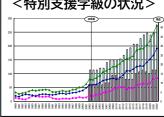
> ・市立プールを含 めた学校プール のあり方検討が

## ●給食

	小学校	中学校
方式	自校方式	デリバリー式、持参 の選択方式
課題	・給食室の老朽 化、狭隘化 ・整備い、順上 必要	なる

### ●特別支援、国際教室、少人数教育等

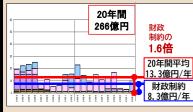
# <特別支援学級の状況>



- 特別支援学級や 国際教室は年々 需要が高まって いる。
- 少人数教育も含 め教室が必要と なる

# ■ ハード面の対応

第1案 20年間で全ての棟を座 間中1号棟と同等のレ ベルに引き上げる場合



- 圧縮強度の低し 建物が3棟あり 改築で49億円 かかる
- 最低限の機能向 上(トイレ・EV・ 内部等)で61億 円かかる
- 財政制約ライン の約1.6倍のコ ストが必要

## 第2案 現状考えられる最大限 の改修を実施した場合



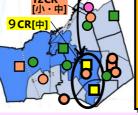
既存施設を全て 残し学習環境を 確保した場合、 財政制約ライン の約3.2倍のコ ストが必要

■ 今後10年・20年の児童生徒数・学級数

20年後 現在 10年後 中学校区名 西中学校 座間中学校 相武台東/ 要原中学校 南中学校 南 東中学校 相模中学校

現在 1 0 10 8 **■** •

将来(20年後) 9 CR[申] O



今後20年 はある程 度学校規

> 中学校の 小規模校 化が先行 て進行

模を維持

# ■ 通学区域、学校配置



市の中心エリア は、小・中学校 区が不整合

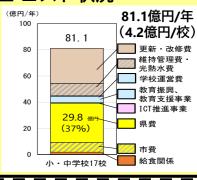
2つの中学校に 分かれて進学す る小学校では児 童分布と学校配 置にアンバラン スが生じている



米軍基地、工業 団地、市街化調 整区域などでエ リアが分断

市縁辺部の駅を 有するエリアで は当面人口微増

# ■ コスト状況



も人件費や運営 費等がかかる 県費の割合は教 職員人件費など 37%程度

維持更新以外に

コストシ ミュレ-ション

# ■ 望ましい学習環境





学校施設適正化方針の策定

具体的な対応策の検討